

令和6年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立男女共同参画・青少年センター

評価項目	評価基準	評価委員会の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I 提案の履行状況に関する項目				
(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	・施設の設置目的である府の男女共同参画施策及び青少年育成に沿った施設運営や取組が計画的に行われているか。	○指定管理者のノウハウを活かした独自の企画を行うことにより、さらに男女共同参画の推進、及び青少年育成への支援・取組を強化されたい。 ○NPO 協働フロアの活用など、当初の提案事項の遂行や、課題となっている事項の解決を速やかに図られたい。	○指定管理者のノウハウを活かした独自の企画を行うことにより、さらに男女共同参画の推進、及び青少年育成への支援・取組を強化されたい。 ○NPO 協働フロアの活用など、当初の提案事項の遂行や、課題となっている事項の解決を速やかに図られたい。	構成団体の専門性を活かした事業を新たに企画、実施します。 (案) 開館 30 周年記念事業「スマホとネットとの正しい付き合い方」(セミナー&パネル展)他 NPO 団体等に公募を行い、希望する団体の活動を紹介するパネル展示コーナーを一定期間設置し、広く SNS 等でその活動を紹介することで、 NPO 協働フロアのさまざまなサービスについて周知します。また、展示に参加した団体同士の交流会などを企画します。
	・コンシェルジュ機能人材の配置等により、新たな利用者層の獲得や館のさらなるにぎわいや活性化に資する取組が行われているか。			
	・企業、大学等の教育機関、NPO等との連携・ネットワークを活かした取組が行われているか。			
	・社会貢献活動や法令遵守の取組が行われているか			
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	・予約の受付や目的利用の判断等において、公正かつ透明性を確保した対応が行われているか	○貸室利用のフローや条件をパンフレット、ホームページ等ですべての府民にわかりやすく案内し、周知することで平等利用に繋げられたい。	○一般利用、目的利用、登録団体等に関わらず、すべての利用者に申込のフローをわかりやすく明らかにするよう、パンフレットの記載やホームページの修正を検討されたい。	ホームページにネット予約の手順をわかりやすく解説したページを作成し追加するなど、検討を進めます。
	・利用者団体登録制度に関する審査等が適切に行われているか			
	・障がい者、高齢者等に配慮した取組が行われているか			
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	・ロビーや情報ライブラリー等館内施設を活用した取組が行われているか	○利用区分の細分化など、利用者の目線に立ったサービスを行い、利便性の向上と利用者の増加を図られたい。 ○パネル展示だけでなく、関連したイベントを行うなど、人が集まり、館全体がにぎわうような取組を実施されたい。 ○オンラインを活用した広報を強化するなど、利用者の増加を図るための広報の手法を工夫されたい。	○類似施設や近隣施設の状況等も調査したうえで、利用者の目線に立ったサービスを行い、利便性の向上と利用者の増加を図られたい。 ○パネル展示だけでなく、関連したイベントを行うなど、人が集まり、館全体がにぎわうような取組を実施されたい。 ○オンラインを活用した広報を強化するなど、利用者の増加を図るための広報の手法を工夫されたい。	予約システムサービスの周知を図り、来館しなくても利用手続きがスムーズにできることをアピールします。同時に区分間延長の周知をより積極的に行い、利用者増を目指します。 1F ロビーでの季節感ある装飾を用いた「おもてなし演出」を行います。また構成団体の専門性を活かした事業を新たに企画、実施します。 SNS で事業やイベント、展示等についても広く周知し、人を呼び込みます。また会議室ポータルサイトでの検索順位が常に上位になるように情報の更新をこまめに行います。インターネット検索においても上位でヒットするよう、有料広告の実施を検討します。
	・会議室・ホール等の利用時間や日数の拡大等による利用促進が図られているか			
	・施設の戦略的な広報や認知度向上に向けた取組が行われているか			
(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	・オンライン配信を組み合わせた会議等に係る施設の利用環境の向上やサポート等新しい利用者ニーズに的確に対応した取組が行われているか	○NPO 協働フロアの活用など、当初の提案事項の遂行や、課題となっている事項の解決を速やかに図られたい。(再掲)	○NPO 協働フロアの活用など、当初の提案事項の遂行や、課題となっている事項の解決を速やかに図られたい。(再掲)	NPO 団体等に公募を行い、希望する団体の活動を紹介するパネル展示コーナーを一定期間設置し、広く SNS 等でその活動を紹介することで、 NPO 協働フロアのさまざまなサービスについて周知します。また、展示に参加した団体同士の交流会などを企画し
	・コンシェルジュ機能人材の配置等により、新たな利用者層の獲得や館のさらなるにぎわいや活性化に資する取組が行われているか【再掲】			

	・情報ライブラリーやNPO協働フロアの運営、一時保育業務等の管理運営業務が適切に行われているか			ます。(再掲)
(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	・施設全体の保守、点検、維持管理について計画に基づき適切に行っているか			
	・施設管理や安全衛生管理、危機管理に関する対応マニュアルを作成するとともに、適切に対応できる体制が取られているか			
(6) 府施策との整合	・府が実施する事業への協力が行われているか	○指定管理者のノウハウを活かした独自の企画を行うことにより、さらに男女共同参画の推進、及び青少年育成への支援・取組を強化されたい。(再掲)	○指定管理者のノウハウを活かした独自の企画を行うことにより、さらに男女共同参画の推進、及び青少年育成への支援・取組を強化されたい。(再掲)	構成団体の専門性を活かした事業を新たに企画、実施します。 (案) 開館 30 周年記念事業「スマホとネットとの正しい付き合い方」(セミナー&パネル展)他 (再掲)
	・行政の福祉化に関する取組が行われているか			
	・府民・NPOとの連携は図られているか			
	・環境問題への取組が行われているか			
		○パネル展示だけでなく、関連したイベントを行うなど、人が集まり、館全体がにぎわうような取組を実施されたい。(再掲)	○パネル展示だけでなく、関連したイベントを行うなど、人が集まり、館全体がにぎわうような取組を実施されたい。(再掲)	1F ロビーでの季節感ある装飾を用いた「おもてなし演出」を行います。また構成団体の専門性を活かした事業を新たに企画、実施します。(再掲)
II さらなるサービスの向上に関する項目				
(1) 利用者満足度調査等	・アンケート等による利用者の意見を組織内で共有しているか			
	・アンケート結果等が運営に反映されているか			
(2) その他創意工夫	・その他指定管理者による自主事業やサービス向上につながる取組、創意工夫が行われているか	○指定管理者のノウハウを活かした独自の企画を行うことにより、男女共同参画の推進、及び青少年育成への支援・取組を強化されたい。(再掲)	○指定管理者のノウハウを活かした独自の企画を行うことにより、さらに男女共同参画の推進、及び青少年育成への支援・取組を強化されたい。(再掲)	構成団体の専門性を活かした事業を新たに企画、実施します。 (案) 開館 30 周年記念事業「スマホとネットとの正しい付き合い方」(セミナー&パネル展)他 (再掲)
		○館のにぎわいに繋がるような独自の事業や工夫を行い、利用者の目線に立った新たな取組を実施されたい。	○館のにぎわいに繋がるような独自の事業や工夫を行い、利用者の目線に立った新たな取組を実施されたい。	
		○コロナ禍を経て利用者ニーズがどのように変化したのかを分析し、利用者の増加に向けた工夫を行うこと。	○コロナ禍を経て利用者ニーズがどのように変化したのかを分析し、利用者の増加に向けた工夫を行われたい。	会議室の利用が伸びない理由として、利用者には「会議はオンラインで充分」という成功体験がある事が挙げられます。オンライン形式は一定以上は定着しており、かつてのように「すべての会議を対面」で行うわけではなくなると予想されます。コロナ後の社会変化のひとつとして捉え対応していきます。 他の貸し会議室との差別化できるポイント(例：飲食しながら会議ができる、など)の発掘と開発に努め、対面型とオンライン形式のハイブリッド会議ができることも同

				時にアピールしていきます。
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目				
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・収入の確保や経費の効率的、効果的な執行、削減等、安定的な収支計画に向けた取組を行っているか 	○収支改善に取り組まれているが、収入が上がりきっていない原因を客観的に分析し、運営の安定化に向けた抜本的な取組を実施する必要があると考える。	○収入が上がりきっていない原因を客観的に分析し、運営の安定化に向けた抜本的な取組を実施されたい。	会議室の利用が伸びない理由として、利用者には「会議はオンラインで充分」という成功体験がある事が挙げられます。オンライン形式は一定以上は定着しており、かつてのように「すべての会議を対面」で行うわけではなくなると予想されます。コロナ後の社会変化のひとつとして捉え対応していきます。 他の貸し会議室との差別化できるポイント（例：飲食しながら会議ができる、など）の発掘と開発に努め、対面型とオンライン形式のハイブリッド会議ができることも同時にアピールしていきます。(再掲)
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に必要な人員数を確保、配置しているか ・要資格者や専門性、技術を要する職員等を確保し、配置しているか ・業務従事者の管理監督体制、責任体制は適正であるか ・業務従事者に対する研修が行われているか 	<p>○収支状況を踏まえ、各担当部門ごとの人数配分が、運営に見合った人員配置となっているか、精査されたい。</p> <p>○安定的な運営のためには、利用者への利便性向上による稼働率改善が有効と考えられる。そのために、専門的な知識を持つ IT 人材や DX 人材を配置し、既存の業務フローを改善できるような人員体制をとられたい。</p>	<p>○各担当部門ごとの人数配分を見直すなど、サービス向上のためにとるべき体制と、そのために必要な人員について精査されたい。</p> <p>○安定的な運営のためには、利用者への利便性向上による稼働率改善が有効と考えられる。そのために、専門的な知識を持つ IT 人材や DX 人材を配置し、既存の業務フローを改善できるような人員体制をとられたい。</p>	<p>事業企画実施・サービス向上を図りながら、貸館部門、情報ライブラリーそれぞれの通常業務の遂行するため、必要かつ十分な人員の配置を行います。また現状、各部門とも最低限の人員配置で館を稼働させており、業務やサービス体制への影響を考えるとこれ以上の人員削減は大きな不合理を招く事になりかねないと考えております。引き続き利用率の向上をもって増収を図るべく、広報、サービスの向上、事業企画などの工夫に取り組んでまいります。</p> <p>IT 系の人材を R7年 4/1 採用予定。既存の業務フローについても、新たな目線で見直しを行ってまいります。</p>
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・損失状況やキャッシュ・フロー等経営状況が健全であるか 	○収支改善に取り組まれているが、収入が上がりきっていない原因を客観的に分析し、運営の安定化に向けた抜本的な取組を実施する必要があると考える。(再掲)	○収入が上がりきっていない原因を客観的に分析し、運営の安定化に向けた抜本的な取組を実施されたい。(再掲)	会議室の利用が伸びない理由として、利用者には「会議はオンラインで充分」という成功体験がある事が挙げられます。オンライン形式は一定以上は定着しており、かつてのように「すべての会議を対面」で行うわけではなくなると予想されます。コロナ後の社会変化のひとつとして捉え対応していきます。 他の貸し会議室との差別化できるポイント（例：飲食しながら会議ができる、など）の発掘と開発に努め、対面型とオンライン形式のハイブリッド会議ができることも同時にアピールしていきます。(再掲)